



平成 20 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ン リ ッ  
代 表 者 の 代 表 取 締 役 会 長 三 浦 正 英  
役 職 氏 名 社 長 執 行 役 員

(コード番号：9366 東証一部)

問 合 せ 先 代 表 取 締 役 専 務 執 行 役 員 三 浦 康 英

電 話 番 号 0 3 - 3 4 7 1 - 0 0 1 1 (代 表)

### 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算におきまして、特別損失を計上いたしますのでお知らせいたしますとともに、平成 20 年 5 月 12 日の決算発表時に公表しました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上

##### (1) 連結

当社連結子会社である新英産業株式会社の事業の収益性が、譲受け時の事業環境と比較し、大きく変化したことに伴い、現状の業績及び今後の事業計画を検討した結果、当初計画を下回る見込みであるため、のれん減損として 97 百万円を計上いたします。

##### (2) 個別

当社連結子会社である新英産業株式会社につきまして、現状の業績及び今後の事業計画を検討した結果、当社保有の同社株式に対する評価損として 893 百万円を計上いたします。

#### 2. 連結業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期 第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 12 日発表)	9,220	470	480	250	41 円 64 銭
今回修正予想(B)	9,099	364	371	70	11 円 81 銭
増減額(B - A)	△120	△ 105	△ 108	△ 179	—
増減率(%)	△1.3	△22.5	△22.6	△71.6	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月第 2 四半期)	8,357	396	385	207	34 円 63 銭

(2)平成21年3月期 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月12日発表)	18,500	1,180	1,140	640	106円60銭
今回修正予想(B)	19,500	1,000	990	420	69円96銭
増減額(B-A)	1,000	△180	△150	△220	—
増減率(%)	5.4	△15.3	△13.2	△34.4	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	17,459	719	696	308	51円40銭

### 3. 個別業績予想の修正

(1)平成21年3月期 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月12日発表)	7,070	420	410	800	133円25銭
今回修正予想(B)	6,968	360	357	△157	△26円18銭
増減額(B-A)	△101	△59	△52	△957	—
増減率(%)	△1.4	△14.2	△12.8	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月第2四半期)	5,340	322	338	208	34円72銭

(2)平成21年3月期 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月12日発表)	14,600	1,000	1,000	1,150	191円55銭
今回修正予想(B)	14,800	920	930	170	28円32銭
増減額(B-A)	200	△80	△70	△980	—
増減率(%)	1.4	△8.0	△7.0	△85.2	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	11,472	718	748	404	67円32銭

#### 4. 業績予想修正の理由

連結業績予想については、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想において、医療機器関連の 3 P L 分野は減少するものの、海上及び航空貨物の取扱いが増加しているため、通期での売上高は増加する見込みであります。

原価面では、経費削減や顧客への価格改定を進めておりますが、燃料及び資材価格の大幅な高騰を吸収するに至らず、厳しい状況が見込まれます。

また、中国における連結子会社では、厳しい事業環境の中、新規顧客を獲得し、物流事業免許も今年度中に取得する見込みであり、今後のグループ内でのシナジー効果を図っていく所存ですが、のれん減損の計上や円高の影響もあり、利益面では当初予想を下回る見込みであります。

個別業績予想については、主な修正理由は連結業績予想と同様であります。特別損失として関係会社株式の評価損を計上するため、当期純利益において当初予想を大幅に下回る見込みであります。

※なお、当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。

以 上